

自尊と敬虔

和木中学校だより 第2550号

令和7年7月1日（火）

〒740-0061 和木町和木2丁目5番2号

TEL 52-4328 FAX 52-5265

和木中Webページ <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~waki-jhs/>



青夏を駆ける



校長 鬼武伸哉

先月、岩国・和木地区選手権予選大会が2週間にわたり、岩国市及び和木町のスポーツ施設で開催されました。3年生にとっては、中学校生活最後の大会になることも多く、各競技で思わず息をのむような白熱した勝負が繰り広げられたことと推測しています。裏面では本校部活動のチームやチームに所属している選手のおおまかな試合結果を幾枚かの写真とともにお知らせしておりますので、ご確認ください。そうした試合の中で、私が直接目にした光景を今号では取り上げたいと思います。

一つ目の光景は、先月7日（土）に『愛宕スポーツコンプレックス』で開催された女子バレーボールの試合中の出来事です。当日の熱戦も終盤を迎え、県選手権大会への出場権をかけた試合中のことです。あるクラブチームと岩国市内の中学校との対戦でした。予想通りの大接戦で、選手はもちろんのこと、観客の応援の声も大盛り上がり最終セットで、中学校チームの生徒が左膝のあたりを負傷してしまいました。その選手はいったんベンチに下がったものの、すぐにコートに戻ってきました。しかしながら、ケガの影響は見た目にも否定できず、自己のプライドとチームメイトとの絆のために全力を尽くしてボールに向かう気持ちが手に取るように伝わってきました。試合の結果はクラブチームの勝利に終わり、涙を流して現実を受け止めるその選手の姿に心が揺さぶられました。会場にいた本校生徒の多くも私と同じように感じたと思いますが、ともに汗を流した仲間と県選手権大会でプレーすることを胸に、日々、ボールに向かい、声をからしてきたプレイヤーにとって、不慮のケガにより納得がいかないままその思いが絶たれる歯がゆさが、その辛さが、痛いほど伝わってきたのです。彼女がその辛さを乗り越え、笑顔でバレーボールに触れる日が来ることを心から願っています。

壁というものは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。

（イチロー シアトル・マリナーズ会長付特別補佐兼インストラクター）

もう一つの光景は、翌週14日（土）のバスケットボール会場『玖珂中学校』の体育館で目の当たりにしたものです。当日、女子バレーボールの予選2日目の最終試合が始まろうとする頃、バスケットボールの担当者から次のような内容の連絡が入りました。「バスケ男子会場の結露がひどく、続行が難しいため、女子会場の玖珂中へ移動します。試合時間も変わります。」正直に書きますと、屋内で試合をするいくつかの競技種目の顧問を経験してきましたが、これまでフロアの結露により、試合ができないという事態に遭遇したことがなく、そうした事実には驚きました。降雨や湿度の状況が想定外のものであることを頭に入れ、会場に向かったところ、玖珂中の校舎や体育館の周りにはすでに駐車するスペースはなく、申し訳ないと思いながらグラウンドに駐車させていただきました。案の定、激しい降雨によりグラウンドは泥土と化し、車を進めることさえ厳しい状況でした。ようやく、体育館の中に入ると、いくつもの大型扇風機が大きな音を立ててフル稼働している中、試合が展開されていました。体育館の中も、フロアが滑りやすい状況で、実際、つぶさに観戦すると、シューズのラバーが着地面をとらえきれず、足元が不安定で捻挫や転倒をする恐れを十分感じ取ることができるプレイヤーの姿も見かけました。そのような過酷な試合環境を最も支えていたのは、会場係の生徒たちでした。何名もの男子生徒がバスケットコートの半面ごとにグループを作り、モップや雑巾、タオルを手にして、フロアの結露や汗を試合中、ずっと拭き続けていたのです。少なくとも私が本校男子バスケットボールチームの応援をしている間は、男子プレイヤーの素早い攻守の切り替えにも関わらず、コートの半面がフリーになるたびに彼らは黙々と動き続けました。その光景を目にした時、驚きの感情を抱くとともに、私は彼らに万謝の念を覚えました。少なくとも雑巾を手にした生徒は、低い姿勢でフロアの水分を拭き取らなければなりません。彼ら自身にとっても結露で動きをコントロールしにくい条件下で、彼らはその献身的な任務を見事に遂行しました。試合の進行を妨げることもなく、そうした任務に集中して取り組む姿には今でも心からありがたく思っています。その姿も、日々、仲間と協力しながら身に付けた部活動の成果ではないでしょうか。青春、いえ青夏を駆ける子どもたちから、かけがえのないプレゼントをもらった気分です。

形あるものの中には、必ず支えてくれるものがある （大松博文 元全日本女子バレーボール監督）

山口県選手権大会岩国地区予選が終わりました

表面で紹介しましたが、6月7日（土）から6月15日（日）にかけて、山口県選手権大会岩国地区予選が開催されました。3年生にとっては、中学校生活最後の公式戦となった生徒が多かったのではないのでしょうか。本校の運動部に所属する生徒は、週に3日しかない練習時間の中、その成果を精一杯発揮して、善戦しました。しかしながら、団体戦で地区予選を突破した部は残念ながらありませんでした。条件に制約がある中、好きなスポーツを通じて、互いを高め合った仲間とともに戦いきった選手の皆さんに、大きな拍手を送りたいと思います。競技の結果は、次のとおりです。

【卓球】

○団体戦予選リーグ：対 岩国中 0-3 負け、対 由宇中 1-3 負け
予選リーグ第3位 予選敗退

○個人戦：3年女子2名、2年女子2名 2回戦敗退、他1回戦敗退

【ソフトテニス】

○団体戦トーナメント1回戦：対 由宇中 0-3 1回戦敗退

○個人戦：3年男子ペア **ベスト16進出 第9位（県選手権大会出場）**
2ペア 2回戦敗退、1ペア 1回戦敗退

【男子バスケットボール】

○トーナメント1回戦：対 麻里布中 43-52 1回戦敗退

【女子バスケットボール】

○予選リーグ：対 岩国中 29-56 負け、対 由宇中 9-23 負け
予選リーグ敗退

【バレーボール】

○予選リーグ：対 灘クラブ 0-2 負け、対 岩国ジュニアユース 0-2 負け
予選リーグ敗退

【野球】

○トーナメント1回戦：対 玖珂クラブ 0-5 1回戦敗退

